

世界が進むチカラになる。



環境省請負業務

# 令和6年度 循環型ファッションの推進方策 に関する調査業務

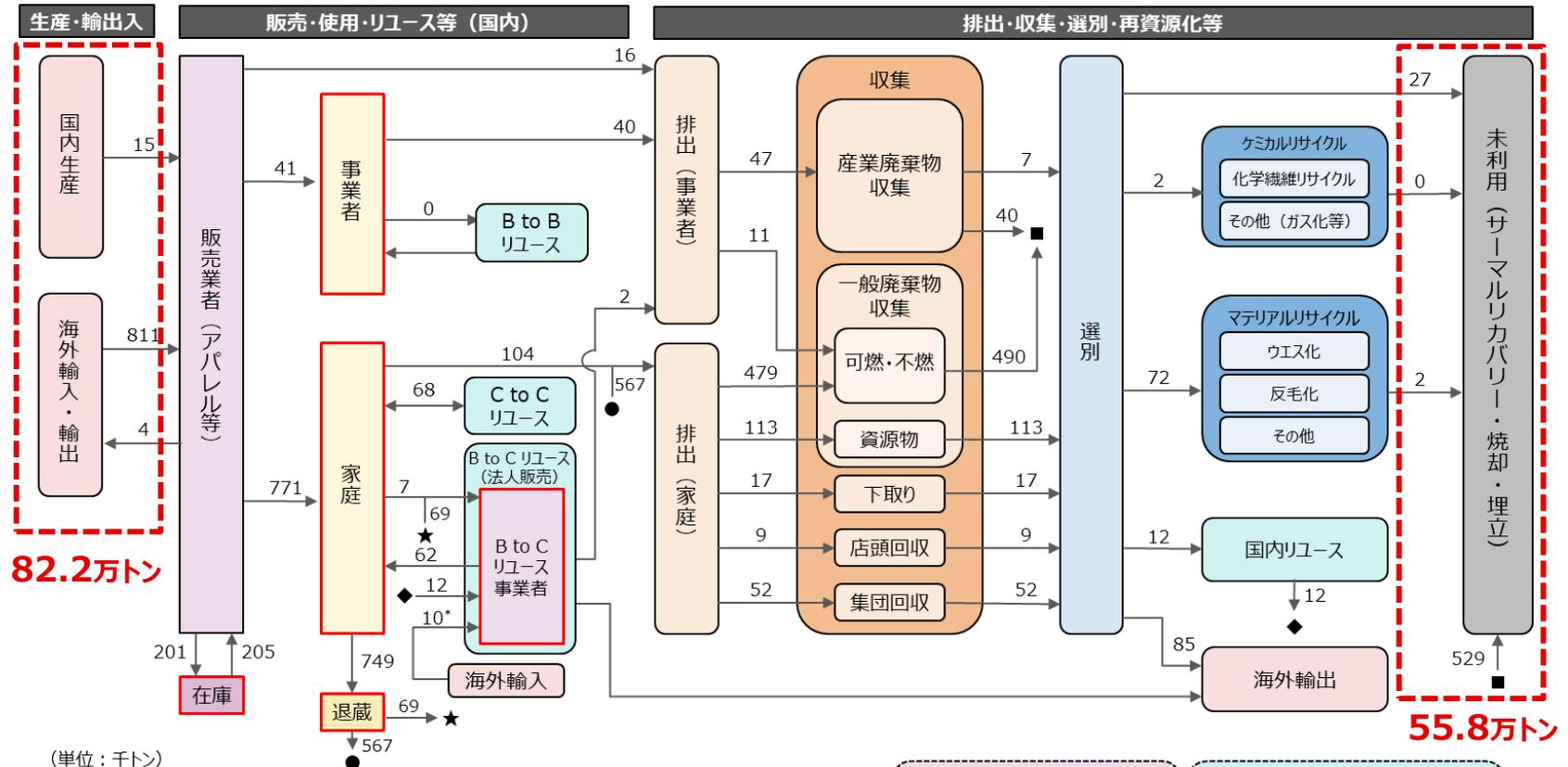
～マテリアルフロー調査結果～

令和7年3月

# 衣類のマテリアルフロー（2024年版）

（注）本フローは、2024年時点で把握可能な最新データを用いて作成されており、「2024年に作成されたフロー」という位置づけである。必ずしも、2024年時点の実情が反映されたものでない点に注意が必要である。

- 衣類の国内新規供給量は計82.2万トン。
- その約7割に相当する計55.8万トンが、事業所及び家庭から手放され、**未利用で廃棄されている**と推計された。



※ 赤枠の主体に投入された衣類は、在庫（販売中含む）・使用・退蔵等を理由に一定時間ストックされた後、排出される。そのため、推計対象年におけるインプットとアウトプットの値は一致せず、その差分がストックの年間増減量/減少量となる。

\*貿易統計の第63類輸入量（63.09 中古の衣類その他の物品）を参照しており、衣類だけでなく、身の回り品や毛布等も含まれる値であることに注意。

在庫	
● 販売業者（アパレル等）の在庫	
● B to Bリユースを行う事業者の在庫	
● B to Cリユース事業者の在庫	

C to Cリユース 内訳	
● 親類や友人への譲渡	: 25
● バザー	: 10
● フリーマーケット（オフライン）	: 2
● フリマアプリ	: 21
● ネットオークション	: 10

使用・退蔵	
● 家庭での使用	
● 家庭での退蔵	
● 事業者の使用	

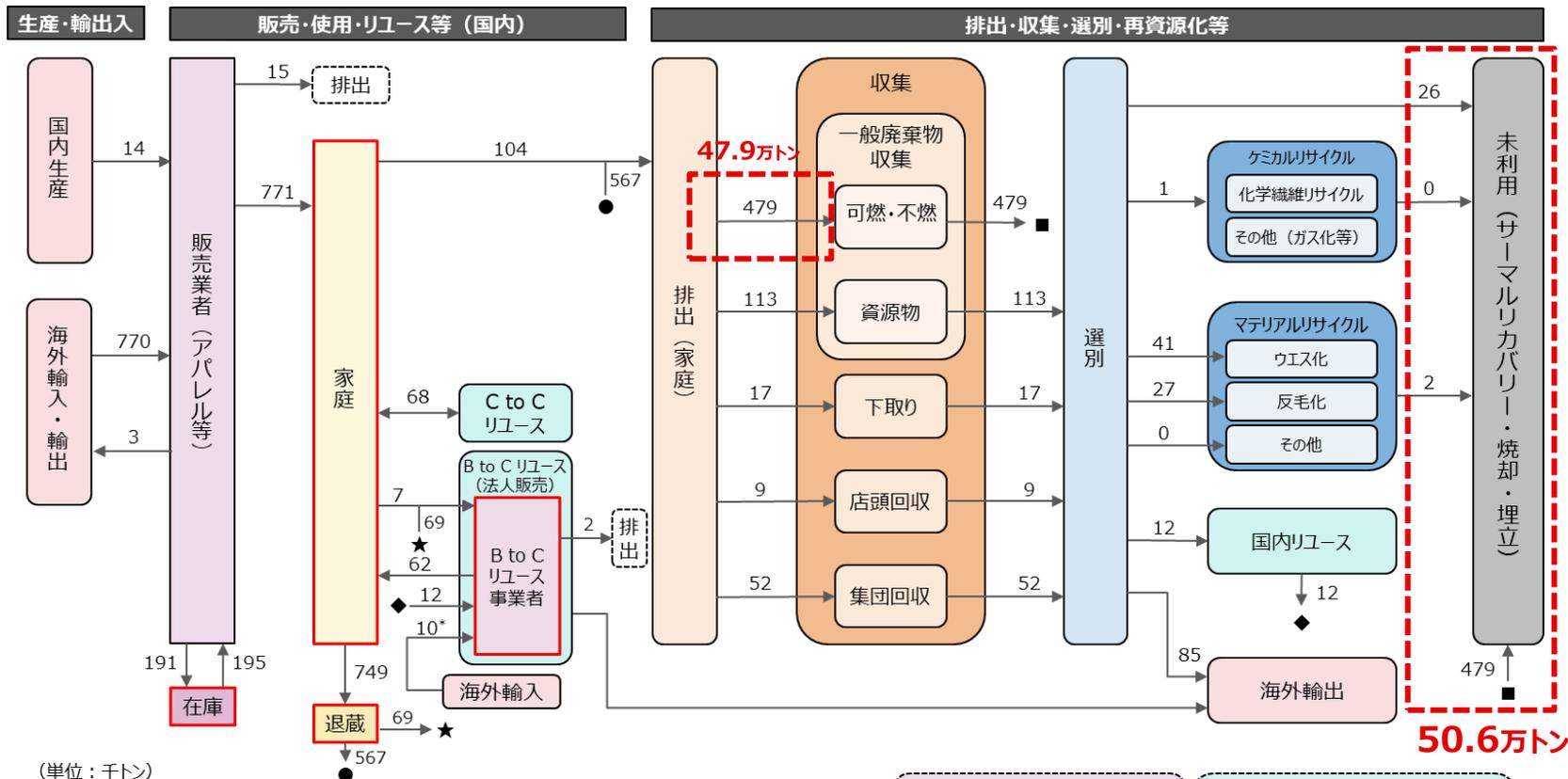
# 衣類のマテリアルフロー（2024年版）

（注）本フローは、2024年時点で把握可能な最新データを用いて作成されており、「2024年に作成されたフロー」という位置づけである。必ずしも、2024年時点の実情が反映されたものでない点に注意が必要である。

■ 家庭への投入・家庭からの排出に着目すると、47.9万トンが可燃・不燃ごみ等として排出されている。

■ 家庭から手放され、最終的に未利用として国内で廃棄される量は、計50.6万トンと推計された。

- なお、2024年版では推計方法の見直しを実施しており、2020年・2022年版の値と経年比較ができないことに注意が必要である。（→詳細はP.8）



※ 赤枠の主体に投入された衣類は、在庫（販売中含む）・使用・退蔵等を理由に一定時間ストックされた後、排出される。そのため、推計対象年におけるインプットとアウトプットの値は一致せず、その差分がストックの年間増加量/減少量となる。

\*貿易統計の第63類輸入量（63.09 中古の衣類その他の物品）を参照しており、衣類だけでなく、身の回り品や毛布等も含まれる値であることに注意。

在庫	C to Cリユース 内訳
● B to Cリユース事業者の在庫	● 親類や友人への譲渡 : 25
	● バザー : 10
	● フリーマーケット（オフライン） : 2
	● フリマアプリ : 21
	● ネットオークション : 10
使用・退蔵	
● 家庭での使用	
● 家庭での退蔵	

# 衣類のマテリアルフローの 検討の概要

# マテリアルフローの作成の概要

## 作成の経緯

- 環境省では2020年度より、アンケート結果や業界団体等からの情報を収集・整理し、衣類の製造から廃棄までに係るマテリアルフローを作成している。2024年度は、有識者の監修の下、推計方法等の再度の検討・精査を行い、取りまとめを行った。

## 本調査におけるマテリアルフローの定義・作成目的

- 本調査におけるマテリアルフローとは、「日本国内において、製品が市場に投入・供給されてから処理をされるまでの工程」を示している。本マテリアルフローを作成する目的としては、以下①・②と設定している。
  - ① 定期的な更新の過程で、特定のフローの推計結果（特に、家庭から廃棄される衣類の量）を定点観測すること
  - ② ライフサイクル全体におけるホットスポット（優先的に対策が必要な箇所）を特定し、政策検討の参考材料とすること

## <マテリアルフローにおける各種設定>

### 対象となる「衣類」の範囲

本フローでは「主たる素材が繊維類である被服（身体を包むもの）」を「衣類」の範囲とし、明確に範囲が設定可能なデータ・統計値については、以下の考えに基づいてデータを整理し、推計を実施している。

（例）パンツ類・その他下着・補整着・寝着類は、範囲に含む

（例）小物類（マフラー、手袋等）は、範囲に含まない

（例）主たる素材が革製・毛皮製の衣類（レザージャケット、毛皮のコート等）は範囲に含まない

### マテリアルフローの時点

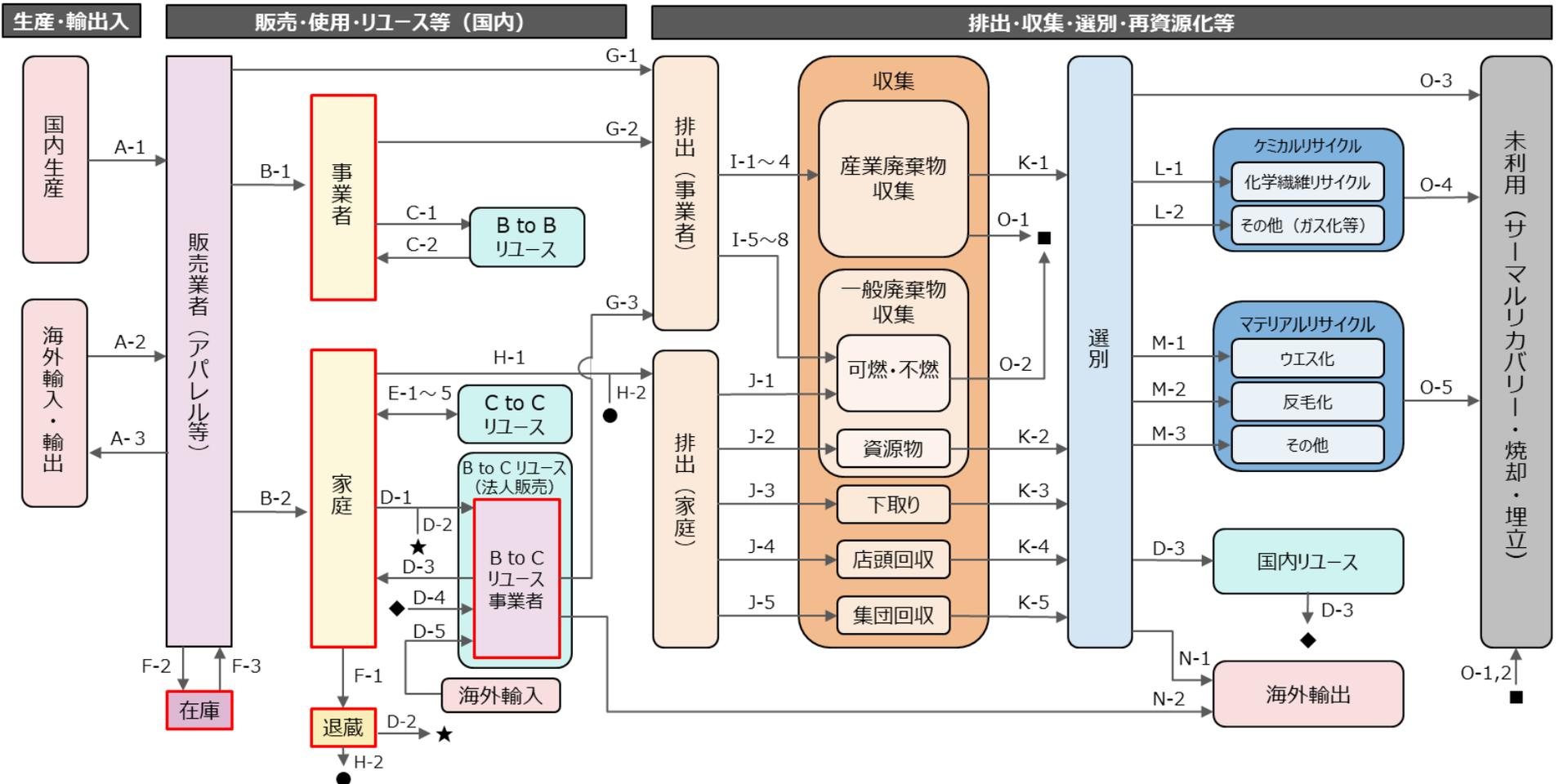
本フローは、2024年時点で把握可能な最新データを用いて作成されており、「2024年に作成されたフロー」という位置づけである。必ずしも2024年時点の実情が反映されたものでない点に注意が必要である。（例えば、衣類の排出の状況として参照している環境省「一般廃棄物処理実態調査」の統計値は、2024年においては2022年度実績となる。）

### マテリアルフローの区分

本フローは、「生産・輸出入」「販売・使用・リユース等（国内）」「排出・収集・選別・再資源化等」の3つの区分について検討を行っている。詳細な見方については、次ページに記載してる。

# 衣類のマテリアルフローの見方 (1/2)

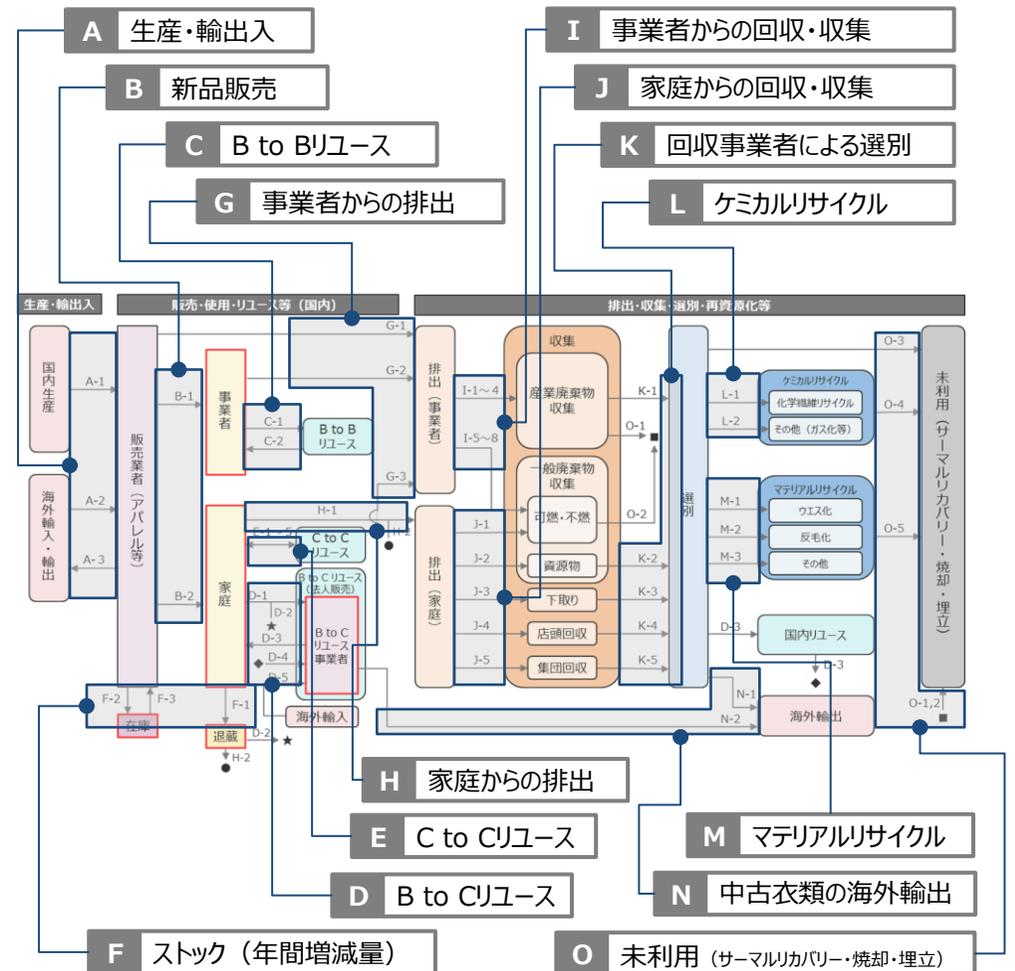
- マテリアルフローは、衣類の流れを示す矢印 (→) と、フローに介在する主体 (□) やプロセス (○) から構成される。
- 基本的には、主体・プロセスへと投入される量 (Input) と排出される量 (Output) が釣り合うように作成されているが、釣り合わない場合 (赤枠) においては、その主体・プロセスにおいてストックされている衣類が増減していることを意味する。



# 衣類のマテリアルフローの見方 (2/2)

■ 各フローは、ライフサイクルの段階として類似する区分ごとに、「A」～「O」の15種類の番号で整理し、推計を行っている。

## <マテリアルフローにおける区分>



7 ※家庭への投入・家庭からの排出に着目した「家庭系フロー」については、A～Oの各記号に' (ダッシュ)』をつけて表現した。(例：家庭系の「A」のフローは「A'」)

# (参考)「家庭から手放され国内で廃棄される量」の推計方法の見直し

- 今年度実施したマテリアルフローの精査により、推計に必要な要素が洗い出され、「家庭から手放され国内で廃棄される量」の推計方法を見直した。

## 2022年版までの計算式と2024年版の計算式

<2022年までの計算式>

### 家庭から手放され国内で廃棄される量

$$\begin{aligned}
 &= A: \text{生活系可燃・不燃ごみ量} \\
 &\quad \times B: \text{家庭ごみに占める繊維類の割合} \\
 &\quad \times C: \text{可燃ごみの繊維類に占める衣類の割合} \\
 &\quad \times D: (100\% - \text{中間処理後再生利用量の割合}) \\
 &+ E: \text{家庭から故繊維事業者への投入量} \\
 &\quad \times F: \text{未利用割合}
 \end{aligned}$$

※Eの内数である「資源回収量」は「直接資源化量」とする



精査を実施

- ①「可燃・不燃ごみ量」に「混合ごみ量」を追加
- ②「中間処理後再生利用量」は「資源物の収集量」とみなす
- ③「リサイクル後の残渣」の項を追加
- ④Bの割合から「資源ごみ」を除き、5年間の移動平均とする

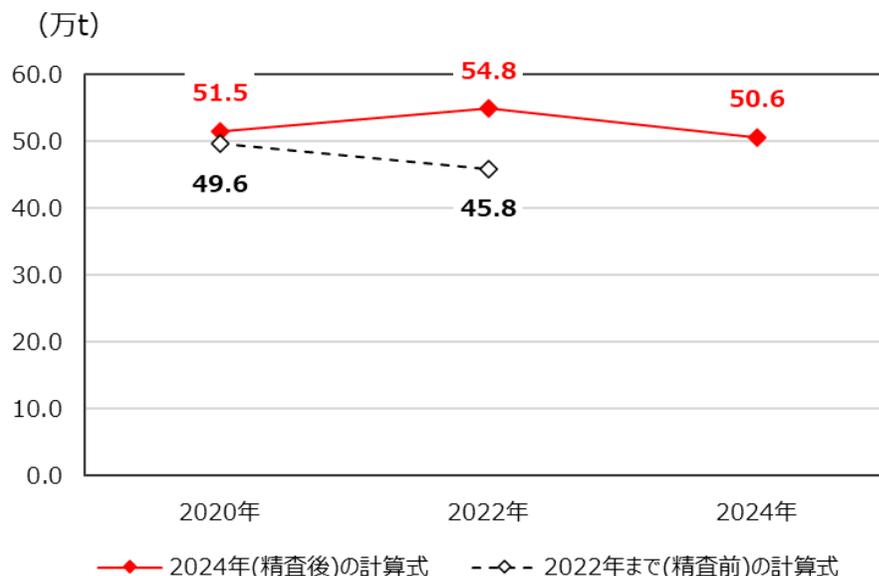
<2024年の計算式>

### 家庭から手放され国内で廃棄される量

$$\begin{aligned}
 &= A: \text{生活系可燃・不燃・混合ごみ量} \\
 &\quad \times B: \text{可燃・不燃ごみに占める繊維類の割合} \\
 &\quad \times C: \text{可燃ごみの繊維類に占める衣類の割合} \\
 &+ E: \text{家庭から故繊維事業者への投入量} \\
 &\quad \times F: (\text{未利用割合} + \text{リサイクル割合} \times \text{残渣割合})
 \end{aligned}$$

※Eの内数である「資源物回収量」は「直接資源化量 + 中間処理後再生利用量」とする

## 精査前後の計算式による推計値の推移比較



### <用語の説明>

- 混合ごみ…可燃または不燃を問わずに収集されるもの
- 家庭から故繊維事業者への投入量…集団回収量 + 資源回収量 + 下取り量
- 直接資源化量…自治体（あるいは委託業者）によって資源化物として収集され、リサイクル業者へ直接引き渡されたごみ量
- 中間処理後再生利用量…焼却処理などの中間処理で発生した残渣のうち資源として利用されたごみ量

# 【参考】 各項目の算出方法

# A : 生産・輸出入

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
A-1	新品衣類国内生産		kt	15	国内生産点数（ニット製外衣+ニット製下着・補正着・寝着類+織物製外衣+織物製下着・補正着・寝着類）×（輸入量÷輸入点数）		-
		国内生産点数	点	64,235,767	把握可能な最新データを参照（2024年は2023年実績）	経済産業省「生産動態統計」	A
		輸入量	kt	811	把握可能な最新データ（2024年実績）を参照し、以下の考え方で推計。 第61類輸入量（61.11の一部、61.15~61.17は除く）+第62類輸入量（62.09の一部、62.13~62.17は除く）	日本貿易統計（第61,62類）	A
		輸入点数	点	3,461,762,339			
A-2	新品衣類輸入	輸入量	kt	811			
A-3	新品衣類輸出	輸出量	kt	4	把握可能な最新データ（2024年実績）を参照し、以下の考え方で推計。 第61類輸出量（61.11の一部、61.15~61.17は除く）+第62類輸出量（62.09の一部、62.13~62.17は除く）		
A	国内新規供給量（A-1+A-2-A-3）		kt	822	国内生産量+輸入量-輸出量		-

<日本貿易統計（第61,62類）における61.11、62.09の範囲>  
 衣類ではなく、その他衣類及び付属品として分類している61.11、62.09の内訳は以下の通り。  
**61.11（乳児用の衣類及び衣類附属品（メリヤス編み又はクロセ編みのものに限る。））**  
 6111.20-150、6111.20-200、6111.20-210、6111.20-295、6111.30-150、6111.30-210、6111.30-295、6111.90-100、6111.90-210、6111.90-290  
**62.09（乳児用の衣類及び衣類附属品）**  
 6209.20-150、6209.20-221、6209.30-150、6209.30-221、6209.90-150、6209.90-221

## A' : 生産・輸出入

&lt;データ精度&gt;

A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計

B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計

C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計

D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
A-1'	新品衣類国内生産		kt	14	新品衣類国内生産 (A-1) × (1 - 業務用比率)		-
		新品衣類国内生産 (A-1)	kt	15			-
A-2'	新品衣類輸入	輸入量	kt	770	新品衣類輸入 (A-2) × (1 - 業務用比率)		-
		新品衣類輸入 (A-2)	kt	811			-
A-3'	新品衣類輸出	輸出量	kt	3	新品衣類輸出 (A-3) × (1 - 業務用比率)		-
		新品衣類輸出 (A-3)	kt	4			-
		業務用比率	%	5%	国内ユニフォーム市場規模 (5,254億円) ÷ 国内繊維産業市場規模 (10兆4,266億円)	矢野経済研究所「繊維白書」 矢野経済研究所「ユニフォーム市場年鑑」	D
A'	国内新規供給量 (A-1+A-2-A-3)		kt	781			-

## B : 新品販売

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
B-1	事業者向け新品衣類の販売		kt	41	家庭・事業所への販売量 (B-1+B-2) × 業務用比率		-
B-2	家庭向け新品衣類の販売		kt	771	家庭・事業者への販売量 (B-1+B-2) × (1 - 業務用比率)		-
		業務用比率	%	5%	国内ユニフォーム市場規模 (5,254億円) ÷ 国内繊維産業市場規模 (10兆4,266億円)	矢野経済研究所「繊維白書」 矢野経済研究所「ユニフォーム市場年鑑」	D
B	家庭・事業者への販売量		kt	811	国内新規供給量 (A-1+A-2-A-3) - 販売業者 (アパレル等) の廃棄 (G-1) - 販売業者 (アパレル等) の年間在庫発生量 (F-2) + 販売業者 (アパレル等) の前年在庫からの投入量 (F-3)		-
		国内新規供給量 (A-1+A-2-A-3)	kt	822			-
		販売業者 (アパレル等) の排出 (G-1)	kt	16			-
		販売業者 (アパレル等) の年間在庫発生量 (F-2)	kt	201			-
		販売業者 (アパレル等) の前年在庫からの投入量 (F-3)	kt	205			-

# C : B to Bリユース

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
C-1	B to Bリユースを行う事業者における中古衣類の仕入れ		kt	0	事業者向け新品衣類の販売（B-1）×ユニフォームのリユース率		-
		事業者向け新品衣類の販売（B-1）	kt	41			-
		ユニフォームのリユース率	%	0.9%	排出者の排出割合（2021年度調査）と回収者の回収後の取扱割合（2023年度調査）を基にした推計値。 ※社数ベース	・日本ユニフォーム協会「ユニフォーム業界のリサイクルに関する実態調査（2023年度）」 ・日本ユニフォームセンター「2021年度 意識調査「ユニフォームにおけるSDGsへの意識」」	B
C-2	B to Bリユースを行う事業者における中古衣類の販売		kt	-	実態が不明であり、今年度は推計を行わない。		-

# D : B to Cリユース (1/2)

<データ精度>  
 A：悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B：代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C：妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D：独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
D-1	家庭からの中古衣類の販売（使用由来）		kt	7	家庭から手放される中古衣類の総量（D-1+D-2）×家庭からのリユース向け排出のうち、非退蔵品の割合		-
		家庭から手放される中古衣類の総量（D-1+D-2）	kt	77			-
		家庭からのリユース向け排出のうち、非退蔵品の割合	%	10%	2023年にリユース向けに排出された量のうち、使用由来の衣類の割合	環境省「令和6年度消費者アンケート（ストック調査）」	B
D-2	家庭からの中古衣類の販売（退蔵由来）		kt	69	家庭から手放される中古衣類の総量（D-1+D-2）×家庭からのリユース向け排出のうち、退蔵品の割合		-
		家庭から手放される中古衣類の総量（D-1+D-2）	kt	77			-
		家庭からのリユース向け排出のうち、退蔵品の割合	%	90%	2023年にリユース向けに排出された新品衣類のうち、退蔵由来の割合	環境省「令和6年度消費者アンケート（ストック調査）」	B
D-1+D-2	家庭からの中古衣類の販売（合計）		kt	77	消費者アンケートを基にした推計値×統計値への補正係数		-
		消費者アンケートを基に推計したリユースショップへの販売量	kt	83	消費者アンケートより性別年代別にウェイトバック集計し、1人あたりの枚数を推計。日本全国の人口（2024年住民基本台帳）を基に、全国に拡大推計。	環境省「令和6年度消費者アンケート」	B
		統計値への補正係数	%	92%	消費者アンケートを基に推計した集団回収量÷集団回収量（布類）		-
D-3	B to Cリユース事業者（リユースショップ）における中古衣類の販売		kt	64	消費者アンケートを基にした推計値×統計値への補正係数		-
		消費者アンケートを基に推計したリユースショップからの購入量	kt	69	消費者アンケートより性別年代別にウェイトバック集計し、1人あたりの枚数を推計。日本全国の人口（2024年住民基本台帳）を基に、全国に拡大推計。	環境省「令和6年度消費者アンケート」	B
		統計値への補正係数	%	92%	消費者アンケートを基に推計した集団回収量÷集団回収量（布類）		-

## D : B to Cリユース (2/2)

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
D-4	故繊維事業者が回収した衣類の国内リユース		kt	12	家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）×国内向け中古衣料割合		-
		家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）	kt	182			-
		国内向け中古衣料割合	%	7%	故繊維事業者アンケートの回答のうち、業務範囲が「回収」のみの事業者を除き、年間取扱量と処理割合から推計した年間処理量の推計割合。	環境省「令和5年度故繊維事業者アンケート」	B
D-5	中古衣類の海外輸入		kt	10	第63類輸入量（63.09 中古の衣類その他の物品） ※衣類だけでなく、身の回り品や毛布等も含まれる値であることに注意が必要。	日本貿易統計（第63類）	A
	B to Cリユース事業者（リユースショップ）の仕入れ（合計）（D-1+D-2+D-4+D-5）		kt	99			-

# E : C to Cリユース (1/2)

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
E-1	親類や友人への譲渡		kt	25	消費者アンケートを基にした推計値×統計値への補正係数		-
		消費者アンケートを基に推計した親類や友人への譲渡	kt	27	消費者アンケートより性別年代別にウエイトバック集計し、1人あたりの枚数を推計。日本全国の人口（2024年住民基本台帳）を基に、全国に拡大推計。	環境省「令和6年度消費者アンケート」	B
		統計値への補正係数	%	92%	消費者アンケートを基に推計した集団回収量÷集団回収量（布類）		-
E-2	バザー		kt	10	消費者アンケートを基にした推計値×統計値への補正係数		-
		消費者アンケートを基に推計したバザーへの譲渡	kt	11	消費者アンケートより性別年代別にウエイトバック集計し、1人あたりの枚数を推計。日本全国の人口（2024年住民基本台帳）を基に、全国に拡大推計。	環境省「令和6年度消費者アンケート」	B
		統計値への補正係数	%	92%	消費者アンケートを基に推計した集団回収量÷集団回収量（布類）		-
E-3	フリーマーケット（オフライン）		kt	2	消費者アンケートを基にした推計値×統計値への補正係数		-
		消費者アンケートを基に推計したフリーマーケットへの販売	kt	2	消費者アンケートより性別年代別にウエイトバック集計し、1人あたりの枚数を推計。日本全国の人口（2024年住民基本台帳）を基に、全国に拡大推計。	環境省「令和6年度消費者アンケート」	B
		統計値への補正係数	%	92%	消費者アンケートを基に推計した集団回収量÷集団回収量（布類）		-

## E : C to Cリユース (2/2)

<データ精度>

- A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計
- B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計
- C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計
- D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
E-4	フリマアプリ		kt	22	消費者アンケートを基にした推計値×統計値への補正係数		-
		消費者アンケートを基に推計したフリマアプリへの販売量	kt	23	消費者アンケートより性別年代別にウエイトバック集計し、1人あたりの枚数を推計。日本全国の人口（2024年住民基本台帳）を基に、全国に拡大推計。	環境省「令和6年度消費者アンケート」	B
		統計値への補正係数	%	92%	消費者アンケートを基に推計した集団回収量÷集団回収量（布類）		-
E-5	ネットオークション		kt	10	消費者アンケートを基にした推計値×統計値への補正係数		-
		消費者アンケートを基に推計したネットオークションへの販売量	kt	11	消費者アンケートより性別年代別にウエイトバック集計し、1人あたりの枚数を推計。日本全国の人口（2024年住民基本台帳）を基に、全国に拡大推計。	環境省「令和6年度消費者アンケート」	B
		統計値への補正係数	%	92%	消費者アンケートを基に推計した集団回収量÷集団回収量（布類）		-
E	C to Cリユース（合計）		kt	69	親類や友人への譲渡（E-1）+バザーの販売量（E-2）+フリーマーケット販売量（E-3）+フリマアプリの販売量（E-4）、ネットオークションの販売量（E-5）		-
	再販売（リユースショップ・古着屋・フリマなど）		kt	120	リユースショップへの販売量（D-1+D-2）+バザーの販売量（E-2）+フリーマーケット販売量（E-3）+フリマアプリの販売量（E-4）、ネットオークションの販売量（E-5）		-

# F : ストック (年間増減量) (1/2)

<データ精度>  
 A : 悉皆統計 (政府統計) に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ (消費者アンケート調査等) に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ (ヒアリング・文献等) に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
F-1	家庭での年間退蔵発生量		kt	749	家庭への投入量 (新品・中古含む) × 新品衣類の退蔵発生量 (ストック調査) ÷ 新品衣類の家庭への投入量 (ストック調査)		-
		家庭への投入量 (新品・中古含む)	kt	834	家庭向け新品衣類の販売 (B-2) + B to C リユース事業者 (リユースショップ) における中古衣類の販売 (D-3)		-
		新品衣類の家庭への投入量 (ストック調査)	kt	799	2023年における家庭への新品衣類の投入量	環境省「令和6年度消費者アンケート (ストック調査)」	B
		新品衣類の退蔵発生量 (ストック調査)	kt	718	2023年に使用済みとなる新製品のうち、2023年に退蔵される量		
F-2	販売業者 (アパレル等) の年間在庫発生量		kt	201	国内新規供給量 (A-1+A-2-A-3) × 翌年在庫への投入割合 ※「翌年在庫への投入割合」は一定と仮定		-
		国内新規供給量 (A-1+A-2-A-3)	kt	822			-
		翌年在庫への投入割合	%	24.4%	「来シーズンもう一度販売する (24.4%) 」と回答された割合	環境省「令和4年度アパレル事業者アンケート」	B

# F : ストック (年間増減量) (2/2)

<データ精度>  
 A : 悉皆統計 (政府統計) に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ (消費者アンケート調査等) に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ (ヒアリング・文献等) に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
F-3	販売業者 (アパレル等) の前年在庫からの投入量		kt	205	前年の国内新規供給量 (A-1+A-2-A-3に対応する前年実績) × 翌年在庫への投入割合 ※「翌年在庫への投入割合」は一定と仮定		-
		前年の新品衣類国内生産 (A-1に対応)	kt	15			-
		前年の国内生産点数	点	64,235,767		日本貿易統計 (第61,62類)	A
		前年の輸入量	kt	830			
		前年の輸入点数	点	3,496,735,878			
		前年の新品衣類輸入 (A-2に対応)	kt	830	2023年貿易統計より以下データを参照。第61類輸入量 (61.11の一部, 61.15~61.17は除く) + 第62類輸入量 (62.09の一部, 62.13~62.17は除く)		
		前年の新品衣類輸出 (A-3に対応)	kt	3.5	2023年貿易統計より以下データを参照。第61類輸出量 (61.11の一部, 61.15~61.17は除く) + 第62類輸出量 (62.09の一部, 62.13~62.17は除く)		
		前年の国内新規供給量 (A-1+A-2-A-3に対応)	kt	842			-
		翌年在庫への投入割合	%	24.4%	「来シーズンもう一度販売する (24.4%) 」と回答された割合	環境省「令和4年度アパレル事業者アンケート」	B

# F' : ストック (年間増減量)

<データ精度>

- A: 悉皆統計 (政府統計) に基づく推計
- B: 代表性・妥当性が比較的高いデータ (消費者アンケート調査等) に基づく推計
- C: 妥当性が比較的高いデータ (ヒアリング・文献等) に基づく推計
- D: 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
F-2'	販売業者 (アパレル等) の年間在庫発生量		kt	191	販売業者 (アパレル等) の年間在庫発生量 (F-2) × (1 - 業務用比率)		-
		販売業者 (アパレル等) の年間在庫発生量 (F-2)	kt	201			-
F-3'	販売業者 (アパレル等) の前年在庫からの投入量		kt	195	販売業者 (アパレル等) の前年在庫からの投入量 (F-3) × (1 - 業務用比率)		-
		販売業者 (アパレル等) の前年在庫からの投入量 (F-3)	kt	205			-
		業務用比率	%	5%	国内ユニフォーム市場規模 (5,254億円) ÷ 国内繊維市場規模 (10兆4,266億円)	矢野経済研究所「繊維白書」 矢野経済研究所「ユニフォーム市場年鑑」	D

# G : 事業者からの排出

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
G-1	販売業者（アパレル等）の排出		kt	16			-
		国内新規供給量	kt	822			-
		アパレル企業の廃棄率	%	1.9%	「可燃ごみ、不燃ごみとして廃棄（0.8%）」と回答された割合+「焼却処分（1.1%）」と回答された割合	環境省「令和4年度アパレル事業者アンケート」	B
G-2	事業者の排出		kt	40	事業者向け新品衣類の販売（B-1）×ユニフォームの廃棄率		-
		事業者向け新品衣類の販売（B-1）	kt	41			-
		ユニフォームの廃棄物収集に回る割合	%	99.1%	産業廃棄物として収集される割合+一般廃棄物として収集される割合（排出者の排出割合（2021年度調査）と回収者の回収後の取扱割合（2023年度調査）を基にした推計値。 ※社数ベース）	・日本ユニフォーム協議会「ユニフォーム業界のリサイクルに関する実態調査（2023年度）」 ・日本ユニフォームセンター「2021年度 意識調査「ユニフォームにおけるSDGsへの意識」」	B
G-3	B to Cリユース事業者(リユースショップ)の排出		kt	2	リユースショップの販売量（D-1+D-2+D-4+D-5）×リユースショップの廃棄率		-
		B to Cリユース事業者（リユースショップ）の仕入れ（合計）（D-1+D-2+D-4+D-5）	kt	99			-
		リユースショップの廃棄率	%	1.9%	アパレル企業と同程度の廃棄率を仮定		D

## G' : 事業者からの排出

<データ精度>

- A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計
- B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計
- C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計
- D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
G-1'	販売業者（アパレル等）の排出		kt	15			-
		販売業者（アパレル等）の排出（G-1）	kt	16			-
		業務用比率	%	5%	国内ユニフォーム市場規模（5,254億円）÷ 国内繊維市場規模（10兆4,266億円）	矢野経済研究所「繊維白書」 矢野経済研究所「ユニフォーム市場年鑑」	D

# H : 家庭からの排出

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
H-1	家庭からの排出（使用由来）		kt	104	家庭から手放される衣類の総量（J-1～J-5の合計）×家庭からの廃棄のうち、非退蔵品の割合		-
		家庭から手放される衣類の総量（J-1～J-5の合計）	kt	670			-
		家庭からの排出のうち、非退蔵品の割合	%	15%	2023年に排出された量のうち、使用由来の衣類の割合	環境省「令和6年度消費者アンケート（ストック調査）」	B
H-2	家庭からの排出（退蔵由来）		kt	567	家庭から手放される衣類の総量（J-1～J-5の合計）×家庭からの廃棄のうち、退蔵品の割合		-
		家庭から手放される衣類の総量（J-1～J-5の合計）	kt	670			-
		家庭からの排出のうち、退蔵品の割合	%	85%	2023年に排出された新品衣類のうち、退蔵由来の割合	環境省「令和6年度消費者アンケート（ストック調査）」	B
H-1+ H-2	家庭からの排出（合計）		kt	670	家庭から手放される衣類の総量（J-1～J-5の合計）		-

# I : 事業者からの回収・収集 (1/2)

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
I-1	販売業者（アパレル等）由来の産業廃棄物収集量		kt	16	販売業者（アパレル等）の廃棄（G-1）×産業廃棄物として収集される割合		-
		販売業者（アパレル等）の廃棄（G-1）	kt	16			-
		産業廃棄物として収集される割合	%	100%	100%産廃処理されていると仮定		D
I-2	B to Bリユースを行う事業者由来の産業廃棄物収集量		kt	-	実態が不明であり、今年度は推計を行わない。		-
I-3	事業者由来の産業廃棄物収集量		kt	29	事業者向け新品衣類の販売（B-1）×産業廃棄物として収集される割合		-
		事業者向け新品衣類の販売（B-1）	kt	41			-
		産業廃棄物として収集される割合	%	72%	排出者の排出割合（2021年度調査）と回収者の回収後の取扱割合（2023年度調査）を基にした推計値。 ※社数ベース	・日本ユニフォーム協議会「ユニフォーム業界のリサイクルに関する実態調査（2023年度）」 ・日本ユニフォームセンター「2021年度 意識調査「ユニフォームにおけるSDGsへの意識」」	B
I-4	B to Cリユース事業者(リユースショップ)由来の産業廃棄物収集量		kt	2	B to Cリユース事業者(リユースショップ)の廃棄（G-3）×産業廃棄物としての処理割合		-
		B to Cリユース事業者(リユースショップ)の廃棄（G-3）	kt	2			-
		産業廃棄物として収集される割合	%	100%	100%産廃処理されていると仮定		D

# I : 事業者からの回収・収集 (2/2)

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
I-5	販売業者（アパレル等）由来の一般廃棄物収集量		kt	0	販売業者（アパレル等）の廃棄（G-1）×一般廃棄物として収集される割合		-
		販売業者（アパレル等）の廃棄（G-1）	kt	99			-
		一般廃棄物として収集される割合	%	0%	100%産廃処理されていると仮定		D
I-6	B to Bリユースを行う事業者由来の一般廃棄物収集量		kt	-	実態が不明であり、今年度は推計を行わない。		-
I-7	事業者由来の一般廃棄物収集量		kt	11	事業者向け新品衣類の販売（B-1）×一般廃棄物として収集される割合		-
		事業者向け新品衣類の販売（B-1）	kt	41			-
		一般廃棄物として収集される割合	%	27%	事業者アンケート結果より、「貸与された個人が個別に廃棄処理」と回答した割合を使用。（「その他」の回答を除いて補正）※社数ベース	日本ユニフォームセンター「2021年度 意識調査「ユニフォームにおけるSDGsへの意識」」	B
I-8	B to Cリユース事業者（リユースショップ）由来の一般廃棄物収集量		kt	0	B to Cリユース事業者（リユースショップ）の廃棄（G-3）×一般廃棄物として収集される割合		-
		B to Cリユース事業者（リユースショップ）の廃棄（G-3）	kt	2			-
		一般廃棄物として収集される割合	%	0%	100%産廃処理されていると仮定		D

# J : 家庭からの回収・収集 (1/3)

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
J-1	一般廃棄物（可燃・不燃・混合ごみ）としての収集		kt	479	生活系ごみ搬入量（可燃ごみ・不燃ごみ・混合ごみ）×可燃・不燃ごみに占める繊維類の割合×繊維類に占める衣類の割合		-
		生活系ごみ収集量+直接搬入量（可燃ごみ）	kt	19,135	把握可能な最新データを参照（2024年は2022年度実績）	環境省「一般廃棄物処理実態調査」	A
		生活系ごみ収集量+直接搬入量（不燃ごみ）	kt	1,045			
		生活系ごみ収集量+直接搬入量（混合ごみ）	kt	1,592			
		可燃・不燃ごみに占める繊維類の割合	%	3.6%	調査結果を踏まえ、可燃・不燃ごみに占める繊維類の割合（湿重量ベース、過去5年間の移動平均）を算出	環境省「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査」	B
		家庭ごみの繊維類に占める衣類の割合（可燃ごみ）	%	62%	令和6年度調査においては「家庭ごみの繊維類に占める衣類の割合」を調査。可燃ごみの繊維類の中の古着の割合（51.9%）に加え、その他（汚れ・破れたもの等、16.2%）を古着：古布の比率で按分し、合算。		
J-2	一般廃棄物（資源物）としての収集		kt	113	（直接資源化量（布類）+中間処理後再生利用量（布類））×家庭ごみの繊維類に占める衣類の割合		-
		直接資源化量（布類）	kt	87	把握可能な最新データを参照（2024年は2022年度実績）	環境省「一般廃棄物処理実態調査」	A
		中間処理後再生利用量（布類）	kt	36	把握可能な最新データを参照（2024年は2022年度実績） ※中間処理後再生利用量を直接資源化量と同様の扱いとする。		A
		家庭ごみの繊維類に占める衣類の割合（資源ごみ）	%	91%	令和6年度調査においては「家庭ごみの繊維類に占める衣類の割合」を調査。資源ごみ中の古着の割合（91.2%、湿重量ベース）に加え、その他（汚れ・破れたもの等、0.3%、湿重量ベース）を古着：古布の比率で按分し、合算。	環境省「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査」	B

## J : 家庭からの回収・収集 (2/3)

<データ精度>

- A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計
- B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計
- C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計
- D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
J-3	下取り		kt	17	消費者アンケートを基にした推計値×統計値への補正係数		-
		消費者アンケートを基に推計した下取り量	kt	19	消費者アンケートより性別年代別にウェイトバック集計し、1人あたりの枚数を推計。日本全国の人口（2024年住民基本台帳）を基に、全国に拡大推計。	環境省「令和6年度消費者アンケート」	B
		統計値への補正係数	%	92%	消費者アンケートを基に推計した集団回収量 ÷ 集団回収量（布類）		-
J-4	店頭回収		kt	9	消費者アンケートを基にした推計値×統計値への補正係数		-
		消費者アンケートを基に推計した店頭回収量	kt	10	消費者アンケートより性別年代別にウェイトバック集計し、1人あたりの枚数を推計。日本全国の人口（2024年住民基本台帳）を基に、全国に拡大推計。	環境省「令和6年度消費者アンケート」	B
		統計値への補正係数	%	92%	消費者アンケートを基に推計した集団回収量 ÷ 集団回収量（布類）		-

# J : 家庭からの回収・収集 (3/3)

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
J-5	集団回収		kt	52	布類の集団回収量×家庭ごみの繊維類に占める衣類の割合		-
		消費者アンケートを基に推計した集団回収量	kt	48	消費者アンケートより性別年代別にウエイトバック集計し、1人あたりの枚数を推計。日本全国の人口（2024年住民基本台帳）を基に、全国に拡大推計。	環境省「令和6年度消費者アンケート」	B
		集団回収量（布類）	kt	57	把握可能な最新データを参照（2024年は2022年度実績）	環境省「一般廃棄物処理実態調査」	A
		家庭ごみの繊維類に占める衣類の割合（資源ごみ）	%	91%	令和6年度調査においては「家庭ごみの繊維類に占める衣類の割合」を調査。資源ごみ中の古着の割合（91.2%、湿重量ベース）に加え、その他（汚れ・破れたもの等、0.3%、湿重量ベース）を古着：古布の比率で按分し、合算。	環境省「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査」	B
		消費者アンケート→統計値への補正係数（集団回収量ベース）	%	92%	消費者アンケートを基に推計した集団回収量÷集団回収量（布類）		-
	家庭から回収・収集される衣類の総量		kt	670	一般廃棄物（可燃・不燃・混合ごみ）としての収集+一般廃棄物（資源物）としての収集+下取り+店頭回収+集団回収		-
	家庭から手放される衣類の総量（C to Cリユース除く）		kt	747	一般廃棄物（可燃・不燃・混合ごみ）としての収集+一般廃棄物（資源物）としての収集+下取り+店頭回収+集団回収+再販売（リユースショップ・古着屋）		-
	家庭から手放される衣類の総量		kt	816	一般廃棄物（可燃・不燃・混合ごみ）としての収集+一般廃棄物（資源物）としての収集+下取り+店頭回収+集団回収+親類や友人への譲渡+再販売（リユースショップ・古着屋・フリマなど）		-

# K : 回収事業者による選別

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
K-1	産業廃棄物の選別		kt	7	産業廃棄物の収集量-産業廃棄物由来の焼却		-
		産業廃棄物の収集量 (I-1+I-2+I-3+I-4)	kt	47			-
		産業廃棄物由来の焼却 (O-1)	kt	40			-
K-2	一般廃棄物（資源物）の選別		kt	113	「一般廃棄物（資源物）としての収集（J-2）」に等しい。		-
K-3	下取りの選別		kt	17	「下取り（J-3）」に等しい。		-
K-4	店頭回収の選別		kt	9	「店頭回収（J-4）」に等しい。		-
K-5	集団回収の選別		kt	52	「集団回収（J-5）」に等しい。		-
	家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量 (K-2+K-3+K-5)		kt	182	下取り量 + 集団回収量 + 資源回収量		-

# L : ケミカルリサイクル

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
L	ケミカルリサイクル（合計）（L-1+L-2）		kt	2	故繊維事業者の回収物のケミカルリサイクル（ケミカルリサイクル）※家庭からの排出分（L-1'）+産業廃棄物の収集量（I-1+I-2+I-3+I-4）×ケミカルリサイクル割合※事業者からの排出分  ※産業廃棄物の収集量にはアパレルからの廃棄等も含まれるが、ユニフォームのケミカルリサイクル割合を仮定。		-
		ケミカルリサイクル（L'） ※家庭からの排出分	kt	1			-
		産業廃棄物の収集量（I-1+I-2+I-3+I-4）	kt	47			-
		ケミカルリサイクル割合 ※事業者からの排出分	%	3%	排出者の排出割合（2021年度調査）と回収者の回収後の取扱割合（2023年度調査）を基にした推計値。 ※社数ベース	・日本ユニフォーム協議会「ユニフォーム業界のリサイクルに関する実態調査（2023年度）」 ・日本ユニフォームセンター「2021年度 意識調査「ユニフォームにおけるSDGsへの意識」	B

# L' : ケミカルリサイクル

<データ精度>

- A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計
- B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計
- C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計
- D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
L'	ケミカルリサイクル（合計）（L-1'+L-2'） ※家庭からの排出分		kt	1			-
		家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）	kt	182			-
		ケミカルリサイクル割合	%	0%	故繊維事業者アンケートの回答のうち、業務範囲が「回収」のみの事業者を除き、年間取扱量と処理割合から推計した年間処理量の推計割合。	環境省「令和5年度故繊維事業者アンケート」	B

# M : マテリアルリサイクル

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
M	マテリアルリサイクル（合計） (M-1+M-2+M-3)		kt	72	故繊維事業者の回収物のマテリアルリサイクル ※家庭からの排出分 (M') + 産業廃棄物の 収集量 (I-1+I-2+I-3+I-4) × マテリアルリ サイクル割合 ※事業者からの排出分  ※産業廃棄物の収集量にはアパレルからの廃 棄等も含まれるが、ユニフォームのマテリアルリ サイクル割合を仮定。		-
		マテリアルリサイクル（合 計） (M-1'+M-2'+M-3') ※家庭からの排出分	kt	67			-
		産業廃棄物の収集量 (I-1+I-2+I-3+I-4)	kt	47			-
		マテリアルリサイクル割合 ※事業者からの排出分		9%	排出者の排出割合（2021年度調査）と回 収者の回収後の取扱割合（2023年度調 査）を基にした推計値。 ※社数ベース	・日本ユニフォーム協会「ユ ニフォーム業界のリサイクルに 関する実態調査（2023年 度）」 ・日本ユニフォームセンター 「2021年度 意識調査「ユニ フォームにおけるSDGsへの意 識」」	B

# M' : マテリアルリサイクル

<データ精度>

- A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計
- B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計
- C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計
- D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
M-1'	故繊維事業者の回収物のウエス化 ※家庭からの排出分		kt	41	家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）×ウエス化割合		-
		家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）	kt	182			-
		ウエス化割合	%	22%	故繊維事業者アンケートの回答のうち、業務範囲が「回収」のみの事業者を除き、年間取扱量と処理割合から推計した年間処理量の推計割合。	環境省「令和5年度故繊維事業者アンケート」	B
M-2'	故繊維事業者の回収物の反毛化 ※家庭からの排出分		kt	27	家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）×反毛化割合		-
		家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）	kt	182			-
		反毛化割合	%	15%	故繊維事業者アンケートの回答のうち、業務範囲が「回収」のみの事業者を除き、年間取扱量と処理割合から推計した年間処理量の推計割合。	環境省「令和5年度故繊維事業者アンケート」	B
M-3'	その他のマテリアルリサイクル ※家庭からの排出分		kt	0	家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）×その他のマテリアルリサイクル割合		-
		家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）	kt	182			-
		その他のマテリアルリサイクル割合	%	0%	主たるリサイクル手法ではなく、アンケートから詳細な割合が不明なため、今年度の推計では0%とする。	環境省「令和5年度故繊維事業者アンケート」	B
M'	マテリアルリサイクル（合計） （M-1'+M-2'+M-3'） ※家庭からの排出分		kt	67			-

# N : 中古衣類の海外輸出

<データ精度>  
 A: 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B: 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C: 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D: 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
N-1	故繊維事業者が回収した衣類の輸出		kt	85	故繊維事業者が回収した衣類のリユース・リサイクル向け輸出（N-1'）※家庭からの排出分と等しい		-
		故繊維事業者が回収した衣類のリユース・リサイクル向け輸出（N-1'）※家庭からの排出分	kt	85			-
		産業廃棄物の収集量（I-1+I-2+I-3+I-4）	kt	47			-
		海外向け中古衣料割合※事業者からの排出分	%	0%	事業者からの排出分の海外輸出の実態が不明であり、今年度の推計では0とする。		D
N-2	B to Cリユース事業者(リユースショップ)が回収した衣類の輸出	-	-	-	実態が不明であり、今年度は推計を行わない。		-

# N' : 中古衣類の海外輸出

<データ精度>  
 A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
N-1'	故繊維事業者が回収した衣類の輸出 ※家庭からの排出分		kt	85	家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）×海外向け中古衣料割合+店頭回収量 ※2020年度環境省調査より、店頭回収を実施するアパレル企業各社は、難民への寄付、リペア・染め直しによる再販売、シェアリングサービス利用等、それぞれの方法で再利用を実施。詳細な内訳は不明であることから、今年度は海外輸出に位置付けることとする。		-
		家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）	kt	182			-
		海外向け中古衣料割合	%	42%	故繊維事業者アンケートの回答のうち、業務範囲が「回収」のみの事業者を除き、年間取扱量と処理割合から推計した年間処理量の推計割合。	環境省「令和5年度故繊維事業者アンケート」	B
		店頭回収の選別（K-4）	kt	9			

# O : 未利用 (サーマルリカバリー・焼却・埋立) (1/2)

<データ精度>  
 A : 悉皆統計 (政府統計) に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ (消費者アンケート調査等) に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ (ヒアリング・文献等) に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
O-1	産業廃棄物由来の焼却		kt	40	産業廃棄物の収集量×産業廃棄物の焼却割合		-
		産業廃棄物の収集量 (I-1+I-2+I-3+I-4)	kt	47			-
		収集量のうち焼却される割合	%	85%	排出者の排出割合 (2021年度調査) と回収者の回収後の取扱割合 (2023年度調査) を基にした推計値。 ※社数ベース	・日本ユニフォーム協議会「ユニフォーム業界のリサイクルに関する実態調査 (2023年度)」 ・日本ユニフォームセンター「2021年度 意識調査「ユニフォームにおけるSDGsへの意識」」	B
O-2	一般廃棄物由来の焼却		kt	490	一般廃棄物 (可燃・不燃・混合ごみ) としての収集 (J-1) + 販売業者 (アパレル等) 由来の一般廃棄物収集量 (I-5) + 事業者由来の一般廃棄物収集量 (I-7) + B to C リユース事業者 (リユースショップ) 由来の一般廃棄物収集量 (I-8)		-
		一般廃棄物 (可燃・不燃・混合ごみ) としての収集 (J-1)	kt	479			-
		販売業者 (アパレル等) 由来の一般廃棄物収集量 (I-5)	kt	0			-
		B to Bリユースを行う事業者由来の一般廃棄物収集量 (I-6)	kt	-			-
		事業者由来の一般廃棄物収集量 (I-7)	kt	11			-
		B to Cリユース事業者 (リユースショップ) 由来の一般廃棄物収集量 (I-8)	kt	0			-

# O : 未利用 (サーマルリカバリー・焼却・埋立) (2/2)

<データ精度>  
 A : 悉皆統計 (政府統計) に基づく推計  
 B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ (消費者アンケート調査等) に基づく推計  
 C : 妥当性が比較的高いデータ (ヒアリング・文献等) に基づく推計  
 D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
O-3	故繊維事業者の選別由来の焼却等		kt	27	故繊維事業者の選別由来の焼却等※家庭からの排出分 (O-3') + 産業廃棄物の収集量 (I-1+I-2+I-3+I-4) ×サーマルリカバリー割合※事業者からの排出分  ※産業廃棄物については、選別後の焼却はO-1に統合し、サーマルリカバリーのみO-3に計上している。		-
		故繊維事業者の選別由来の焼却等 (O-3')	kt	26			-
		産業廃棄物の収集量 (I-1+I-2+I-3+I-4)	kt	47			-
		サーマルリカバリー割合 ※事業者からの排出分	%	3%	排出者の排出割合 (2021年度調査) と回収者の回収後の取扱割合 (2023年度調査) を基にした推計値。 ※社数ベース	・日本ユニフォーム協議会「ユニフォーム業界のリサイクルに関する実態調査 (2023年度)」 ・日本ユニフォームセンター「2021年度 意識調査「ユニフォームにおけるSDGsへの意識」」	B
O-4	ケミカルリサイクル由来の焼却等		kt	0	ケミカルリサイクルへの投入量 (L) ×残渣割合		-
		ケミカルリサイクルへの投入量 (L)	kt	2			-
		残渣割合	%	2%	組成調査の分類名「衣料」綿製品の肌着、Tシャツ、「身の回り品」に占める非繊維 (ファスナー・ボタン等) の割合	2021年度京都市家庭ごみ細組成調査における京大独自調査	B
O-5	マテリアルリサイクル由来の焼却等		kt	2			-
		マテリアルリサイクルへの投入量 (M)	kt	72	マテリアルリサイクルへの投入量 (M) ×残渣割合		-
		残渣割合	%	2%	組成調査の分類名「衣料」綿製品の肌着、Tシャツ、「身の回り品」に占める非繊維 (ファスナー・ボタン等) の割合	2021年度京都市家庭ごみ細組成調査における京大独自調査	B
O	最終的に未利用となる量 (O-1+O-2+O-3+O-4+O-5)		kt	558			-

## O' : 未利用（サーマルリカバリー・焼却・埋立）

<データ精度>

- A : 悉皆統計（政府統計）に基づく推計
- B : 代表性・妥当性が比較的高いデータ（消費者アンケート調査等）に基づく推計
- C : 妥当性が比較的高いデータ（ヒアリング・文献等）に基づく推計
- D : 独自仮定に基づく推計又は独自仮定に基づくデータを含む推計

フロー	プロセス等	データ項目	データ				データ精度
			単位	2024年	算出方法(2024年)	データ出典	
O-2'	一般廃棄物由来の焼却		kt	479	J-1に等しい。		-
O-3'	故繊維事業者の選別由来の焼却等		kt	26	家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）×（焼却割合+サーマルリカバリー割合）		-
		家庭から回収事業者（故繊維事業者等）への投入量（K-2+K-3+K-5）	kt	182			-
		焼却割合	%	5%	故繊維事業者アンケートの回答のうち、業務範囲が「回収」のみの事業者を除き、年間取扱量と処理割合から推計した年間処理量の推計割合。	環境省「令和5年度故繊維事業者アンケート」	B
		サーマルリカバリー割合	%	9%	故繊維事業者アンケートの回答のうち、業務範囲が「回収」のみの事業者を除き、年間取扱量と処理割合から推計した年間処理量の推計割合。		
O-4'	ケミカルリサイクル由来の焼却等		kt	0	ケミカルリサイクルへの投入量（L'）×残渣割合		-
		ケミカルリサイクルへの投入量（L'）	kt	1			-
		残渣割合	%	2%	組成調査の分類名「衣料」「綿製品の肌着、Tシャツ」、「身の回り品」に占める非繊維（ファスナー・ボタン等）の割合	2021年度京都市家庭ごみ細組成調査における京大独自調査	B
O-5'	マテリアルリサイクル由来の焼却等		kt	2	マテリアルリサイクルへの投入量（M'）×残渣割合		-
		マテリアルリサイクルへの投入量（M'）	kt	67			-
		残渣割合	%	2%	組成調査の分類名「衣料」「綿製品の肌着、Tシャツ」、「身の回り品」に占める非繊維（ファスナー・ボタン等）の割合	2021年度京都市家庭ごみ細組成調査における京大独自調査	B
O'	最終的に未利用となる量（O-2'+O-3'+O-4'+O-5'）		kt	506			-